

自己紹介カード in ボランティアセンター

凜風館1階にあるボランティアセンターには、関大生がボランティアに関する様々なことを同じ学生の立場で気軽に話せるように、学生スタッフがいます。学生目線のスタッフがいて、関大生のボランティアの要望をより伝えやすい環境を作っています。そのボランティアセンターの外にあるボランティアエリアに、現在どんな学生スタッフがいるのかわかるように自己紹介カードを掲示しています。この自己紹介カードを見ると、当日の2限から5限までの学生スタッフのシフトがわかります。学生スタッフをより身近に感じてもらい、少しでもボランティアに興味のある学生が話しかけやすい雰囲気を作りたいという思いで始めたものです。ぜひ一度、ボランティアセンターに来てみてください!

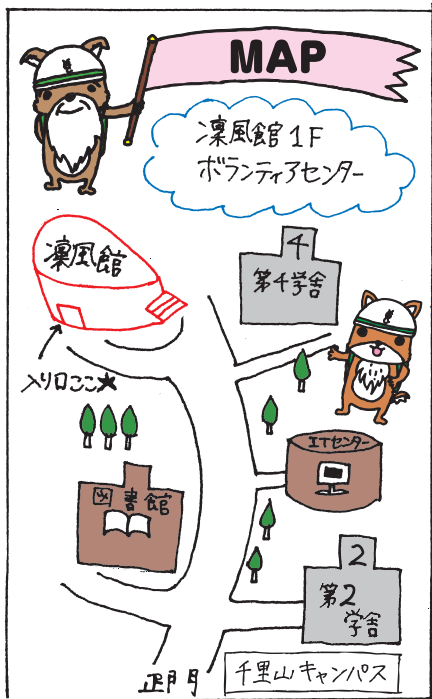


編集後記

今回の編集委員にはこれまでにないほど個性的なメンバーが集まったと思います。そのため、個人の思いがぶつかることもありましたが、その分、今までにない趣向を凝らしたボラリーができたと思います。

今回のボラリーのテーマは「ボランティアはいかが〜?」です。大学生は夏休みには旅行や遊び、勉強や趣味など、様々なことを予定していると思います。新しいことを始めたり、気分転換をしたりするのにうってつけの時期で、成長できる機会がたくさんあります。そんな夏休みの過ごし方の一つにボランティアを提案したい、という編集委員一同の思いがこのテーマには込められています。ボランティアは楽しいだけでなく、成長する機会や、学ぶ機会も与えてくれます。みなさんもぜひ、この夏に「ボランティアはいかが〜?」 (谷ちゃん)

新しいことをはじめる時は、いつも勇気が必要です。みなさんのボランティアへの、かけがえのない「はじめの一歩」から、その後の「歩み」をサポートしていけることを、一同願っております。(VC職員M)



Volury

ボラリー 関西大学ボランティアセンター通信

130
KANSAI
UNIVERSITY

Vol.24

発行日: 2014年(平成26年)7月1日
発行: 関西大学 ボランティアセンター
大阪府吹田市山手町3丁目3-35
〒564-8680 / TEL.06-6368-1121
<http://www.kansai-u.ac.jp/volunteer>

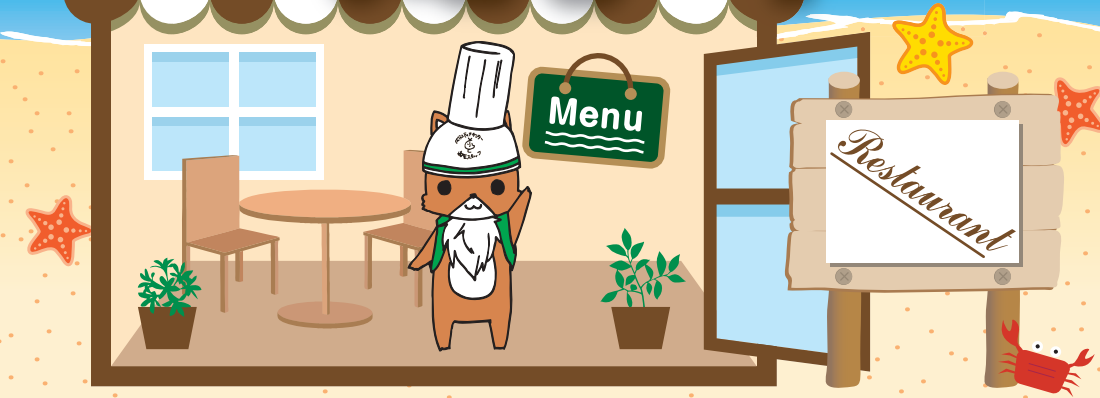
Index:

▶P1~2 | ボランティアとは?
ボランティアで得たもの

▶P3~4 | Volunteer Menu

▶P5~6 | ボランティアセンターに来てみませんか?
連載 第11回学生スタッフボランティア体験隊

ボランティアは いかが〜?



ボランティアという言葉は知っていてもボランティアの定義を説明しようとすると難しいかもしれません。ボランティアはラテン語のVolo（ウォロ、英語のwill：喜んで～する）が語源です。ボランティアのキーワードは**自主性、社会性、無償性**の3つがあげられます。他人にいわれなくても自主的に、公共福祉などの社会事業に参加し、不特定かつ多数の利益につながる営利を目的としない活動のことです。

このようにボランティアの定義を聞くと固いイメージや敷居が高いといった印象を、持つかもしれません。



しかし、
実際にボランティアに
参加してみると…

楽しさ

やりがい

人とのつながり

など

ボランティア活動を通して普段の生活ではできない貴重な経験ができ、多くのものを得ることができます。



ボランティアに参加したいけれど、どんなボランティアがあるのかわからないという方はお気軽にボランティアセンターへお越しください。職員や学生スタッフがあなたに合うボランティアを探すお手伝いをします☆

さまざまなボランティアに参加したことがある学生スタッフに、ボランティアに参加して得られたものについてインタビューしました。



人との出会いで自分のコミュニティが広がったり、考え方が変わったり、ボランティアはたくさんの『変化』をもたらしてくれます。それが自分の『成長』や『やりがい』につながりました。

こっぴー

ボランティアに参加することでさまざまな世代の人と出会うことができます。出会った人たちと話をすると、自分にはない面白い発想や改めて考えさせられることが多く、人との出会いは本当に楽しく、自分は人と話すことが好きなのだ実感できました。

ともみん



ボランティア活動を通してさまざまな社会問題に気づき、視野が広がりました。また、これまで知らなかった新しい自分の一面を知るきっかけにもなりました。

しおりん

Volunteer Menu

ボランティア メニュー

ボランティアをやってみたいけれど、どんな種類があるのか、いつあるのかわからない…。そんなときはボランティアメニューをどうぞ! 定番の Standard Menu と夏限定の Summer Menu に分けて紹介しています☆

Standard Menu

淀川掃除



年々恒例化、大規模化している 話題のボランティア

関西大学の近くに位置する淀川は、大阪の生活に欠かせない存在です。日頃の恩返しとしてみんなで淀川をキレイにしませんか? Let's clean!
〈毎月第1日曜日に実施〉※変更になることもあります。

ボランティアデビューに ピッタリ

関西大学千里山キャンパスとその周辺の道路を掃除する回と、図書館の本の落書き消しをする回があります。どちらも大学の近くやキャンパス内でのボランティアなので、気軽に参加できます! Let's join! 〈毎月実施〉

ミズヒマワリ 駆除作戦!



非日常的かつ アクティブなボランティア

11月頃、胴長を着て川に入り、夏に繁殖した有害な外来種であるミズヒマワリを駆除します。環境問題について考えるきっかけになり、なんといってもトラック数台分のミズヒマワリを駆除できたときの達成感は格別です。寒さも吹き飛ばすほどアクティブで楽しいボランティアです! Let's try!
〈11月頃実施〉

関大クリーン大作戦



Summer Menu

なにわ淀川 花火大会



夏といえば花火! 花火といえばボランティア?!

花火の観覧客にお弁当とお茶を渡し、ゴミ拾いをします。日中はとても暑くて疲れますが、夜になると夜空に大きな花火が次々に打ち上がります。頑張ったあとに見る花火は最高です! Let's go!
〈8月実施〉

子どもたちと遊んで 元気いっぱい! 夏いっぱい!

神社の一角をお借りして、段ボールやペンキを使って迷路や秘密基地を作ります。自然の中で子どもたちと一緒に思いきり遊んで夏を満喫しましょう!
Let's play!
〈8月実施〉

オープン秘密基地 を作ろう!



飛鳥光の回廊



デザインから考えたものが 光になる!

デザイン会議で灯ろうの色や数、デザインを決め、当日はひとつひとつ灯ろうを並べ、灯りをともします。地域の方々とも関わるができる大きなイベントです。夜になって灯りがともると、昼間の疲れも癒されます! Let's make!
〈9月中旬実施〉

ひと夏の思い出に…ボランティアはいかが?

ボランティアセンターにはボランティア情報がたくさん。
きっとあなたにぴったりのボランティアに出会えるのではないで
しょうか？



ボランティア情報

ボランティアセンターで内容を確認したボランティア募集のみを情報提供しています。その数なんと年間約150件。新しい募集チラシも随時提供されるので要チェックです。

ボランティア体験ツアー

ボランティアに興味はあるが1歩が踏み出せないあなた。ボランティアセンターでは学生スタッフが企画するボランティア体験ツアーというものがあります。ボランティア経験のない方も多数参加しています。ひとりでの参加も大歓迎です。ボランティアの初めの1歩にぜひ。



その他にも...

Voluryとは

ボランティアセンターの機関誌です。気軽に手に取ってください。年に3回発行。



ボランティアカレンダーとは

学生スタッフ企画のボランティアやボランティアセンター主催の各種講座の情報を中心にボランティア情報をまとめたカレンダーです。ボランティアセンター入口や正門などに掲示しています。月に1回発行。(インフォメーションシステムの「お知らせ」やボランティアセンターホームページにも掲載しています。)



ボランティアセンターには私達学生スタッフがいます。学生の目線からあなたにぴったりのボランティアを探すお手伝いをします。疑問や不安があれば気軽に声をかけてください。



ボランティア体験隊では学生スタッフが実際に参加したボランティアを紹介しています。今回は「吹田市障がい児育成教室 こぶたさーくる」と「農村ボランティア」を取り上げます。こちらで紹介したボランティアあるいはそれに類似したボランティアの募集チラシがボランティアセンターにあります。興味を持たれた方はボランティアセンターにぜひお越しください。



吹田市障がい児育成教室 こぶたさーくる

Q1. どんなことをしましたか？

様々な障がいを持った子どもたちと一緒に、和気あいあいと一日を過ごしました。午前中は手作りしたボウリングで遊んだり、午後はおやつを食べたりして交流を深めました。



Q2. どうでしたか？

最初は子どもたちと上手く接することができるか不安でしたが、様々な遊びを通して打ち解け合い、楽しく充実した時間を過ごすことができました。印象に残っているのは、子どもたちがとても個性豊かであったことです。また、持っている障がいの種類や程度によって得手・不得手とすることが異なるので、一人一人としっかり向き合い、その子に応じた配慮や支援をすることが必要だと学びました。このような、人とふれあうボランティアはやはり責任も大きく難しい部分もありますが、それだけにきっと様々な面での気付きがあり、得られるものも大きいはずです！



私が参加しました (えり)

農村ボランティア

Q1. どんなことをしましたか？

黒豆を栽培している農家のもとで、イノシシなどの害獣の侵入を防ぐ柵を設置したり、水路を通すために土を掘り返す作業をしました。



Q2. どうでしたか？

作業は大変でしたが、のどかな田舎での活動は空気がいじくしのびのびとした環境ですごく気持ちが良かったです。作業を通して農業の大変さを知り、食べ物の大切さ、農家や自然に対する感謝の気持ちを実感しました。また農家の高齢化や人口の減少、後継者不足などの農業が抱える問題を考えるきっかけになりました。



私が参加しました (やっすん)



ボランティアセンターでメール登録手続きをしていただくと月に1~2回程度ボランティア情報や各種講演会情報を発信させていただきます。ぜひ活用ください。